

| | | | | |
|----------------|--------------|--------|--------------|--|
| ○事業所名 | ネバーランドイースト | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 1月 10日 | ～ | 令和 7年 1月 31日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 12名 | (回答者数) | 8名 | |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 1月 10日 | ～ | 令和 7年 1月 31日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 12名 | (回答者数) | 10名 | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 3月 7日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや 意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 定期的な面談等による情報共有を通し、保護者様との信頼関係を構築している。 | 日々の送迎や面談の際は、子どものこと、保護者様の事、学校や他デイのことなど様々な観点から話し、細やかな情報共有を意識している。 | 日々の伝達や面談以外にも保護者様と情報共有できる機会をさらに設けていく。 |
| 2 | 移行システムがあり、当事業所は未就学児から小学校低学年までのご利用となっている。未就学から小学校入学で環境が変わっていく時期に変わらず利用されるため、お子様の変化にも気付きやすく保護者様と共有することが出来る。小学校選びや入学時の不安等、保護者会で情報を得ることができたり経験談を聞く機会もある。また、当事業所を卒業して次の事業所に移行する際も知っているお友達が多いため新しい環境に馴染みやすい。 | 気軽に集える保護者会を目指し、移動支援等の紹介等保護者様のニーズにあった会を開催できるよう開催後はアンケート調査をし、柔軟な対応を意識している。 普段から事業所間の交流を心がけている。 | 送迎時やモニタリング時にもお子様の様子を聞くとともに、保護者様の気がかりな事や疑問などにもフォーカスしていく。 |
| 3 | InstagramやYouTubeを活用し日々の様子や事業所について発信している。毎日のお子様様を撮影し、LINEのアルバムに毎日送信している。 | 以前は紙媒体で写真を毎日印刷していたものの、紙よりもスマホで気軽に見ることができた方が良いのではという意見があり、今年度からLINEのアルバムへの送信へ変更した。 個人情報には最大の注意をし、アルバムの画像の中で他のご利用者様の顔や名前等、個人情報漏洩防止のためインターネット上に公表しない旨の同意書をいただいている。 | Instagramの充実 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------------------------|------------------------------|
| 1 | 活動自体はやっていても周知が足りていないことがある。 | 発信の形式が分かりづらかった可能性がある。 | 保護者様が分かりやすい形での発信を意識していく。 |
| 2 | 集団での取組(活動)が少ない。 | 送迎の時間が多岐にわたるため、全員が揃って取組(活動)を行うことが難しい。 | 人員を確保して取組以外のことをあらかじめ終わらせておく。 |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | ネバーランドイースト | | | | | 公表日 | 令和 7年 3月 7日 | | | | |
|--------------------------------------|------------|--|---------------|-----|-------|--------------|----------------------|--------------------------------------|----------|--|--|
| | | | | | 利用児童数 | 令和 7年 1月 31日 | | 回収数 | 8名 / 12名 | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 5 | | | 3 | 本人から聞けない為分からない | 適切であることを分かりやすい形で示す | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 5 | | | 3 | じっくり見たことがないので分からない | 事業所内の説明を改めて丁寧に行う | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 活動に合わせた空間かは分からない | 事業所内の説明を改めて丁寧に行う | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 6 | | | 2 | 支援プログラムを把握していない | 支援プログラムの理解促進に努める | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 家族支援・移行支援が分からない | 支援内容の説明をより丁寧に行う | | | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 3 | | | 5 | 地域の子どもの関わっているイメージはない | 地域との関わりをもてる機会をつくっていく | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 3 | | | 5 | ペアレントプログラムを知らない | ペアレントプログラム実施の周知を行う | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 4 | 1 | 1 | 2 | きょうだい同士の支援を知らない | 引き続き父母会を実施していくと共にきょうだい同士の交流の場も提供していく | | | |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|--|----|---------------|-----|-------|----------------------------|---------------------------|
| 保護者への説明等 | 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 7 | | | 1 | 対応の体制は分からない | 対応体制の周知に努め、丁寧な説明を行っていく |
| | 20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| 非常時等の対応 | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 7 | | | | 1 | 子どもに事故が起こったことがまだないので分からない |
| 満足度 | 27 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | | | | | 継続していく |
| | 28 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 8 | | | | 遊んだ話や作ってきた物を見ると楽しんでいるんだと思う | 継続していく |
| | 29 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | | | 継続していく |

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

ネバーランドイースト

公表日

令和 7 年 3 月 7 日

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|---|----|-----|---|----------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 10 | | パーティションを使用したり小部屋を設け、個別ケアができる環境作りを行っている。 | 音に敏感な子のためにより防音されているスペースを作る。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 10 | | 適切に配置されている。 | 継続していく。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 10 | | ワンフロアでほぼ段差がない。 | トイレ前の段差に対して工夫をして段差がなくなるよう改善していく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 10 | | 活動に合わせて空間を仕切っている。 | 老朽化等でどうしてもない部分もあるができれば限り清潔に保つ。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 10 | | クールダウンの時等個別の場所を使用することができる環境作りを行っている。 | 継続していく。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 10 | | 毎日のミーティングに加え、ささいな事でもスタッフ間で話し合えるような環境作りを心がけている。 | 継続していく。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | 自己評価表、イベント毎のアンケートを行い、業務改善に役立っている。 | 継続していく。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | スタッフが自分の意見を言える環境作りをすると共に、意見を反映してより働きやすい環境を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 9 | 1 | 過去に行ったことがある。 | 再度行う。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 10 | | 社会福祉協議会や地域で行われる研修等様々な研修に参加している。 | より多くのスタッフが参加できるよう呼びかける。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 10 | | 作成している。 | 継続していく。 |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 10 | | 個別支援会議やミーティング等それぞれのご利用者様について話し合い、客観的な分析を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 10 | | 会議だけでなくミーティングでも会議録を確認してもらい意見を交換しながら検討している。 | 継続していく。 |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 10 | | 情報共有し、それに沿った支援ができるよう話し合いをしている。 | 継続していく。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 10 | | 使用している。修正した方が分かりやすい部分はその都度改良している。 | 継続していく。 |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 10 | | 発達支援を中心に家族支援や移行支援も行っている。 | 家族支援、移行支援、地域支援にも力を入れていく。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 10 | | どの年齢の利用者様も楽しむことができるよう活動プログラムを話し合っている。 | 継続していく。 |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|----|--|---|------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 10 | | 毎日の取組を記録し、定期的に過去も遡り、同じ内容にならないよう工夫している。担当制にしている。 | 継続していく。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 10 | | 行っている。 | 継続していく。 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 10 | | 午前には常勤のミーティング、午後からは非常勤を含めたミーティングを行い情報共有に努めている。 | 忙しい日には内容が疎かになってしまうこともあるため、意識改革を行う。 |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 10 | | 振り返りを行い記録している。出勤していないスタッフには翌日のミーティングで情報共有している。 | 継続していく。 |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 10 | | 連絡帳、日報など記録をとっている。 | 継続していく。 |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 10 | | 半年に一度モニタリングを行い、必要に応じてそれ以外でもモニタリングを行っている。 | 継続していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 10 | | 管理者と日中担当している職員が参加することが多い。 | 継続していく。 |
| | 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 10 | | 様々な機関と連絡をとり、連携して支援している。 | 継続していく。 |
| | 26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 10 | | 利用者様にとってより良い支援が行われるようインクルージョン推進を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 10 | | 移行の際には担任等挨拶をして利用者様の状況を伝えている。 | その日の様子のみで話す機会があまりないため状況に応じて時間を作る。 |
| | 28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 4 | 6 | 連携を図っている。 | 必要に応じて助言を頂けるよう働きかけしていく。 |
| | 32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 5 | 地域の運動会に参加させてもらった。 | 今後もイベント等機会を設けたい。 |
| | 33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 10 | | 日々の伝達を行い、その都度話し合いが出来ている。 | 継続していく。 |
| 34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 10 | | ペアレントプログラムが来年度東区で開催されるので情報提供をし、参加を呼びかける。 | 継続していく。 | |
| 35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 10 | | 契約時に説明している。 | 継続していく。 | |
| 36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 10 | | 保護者様の意向を確認している。 | 継続していく。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|----|------------------------------|---|----------------------------------|
| 保護者への説明等 | 37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 10 | | 支援計画の説明をし、同意を得ている。 | 継続していく。 |
| | 38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 10 | | 利用者様の様子をみながら必要に応じて話す機会を設けている。 | 継続していく。 |
| | 39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 10 | | 保護者会を開催し、親御様同士の交流の場を提供している。 | 様々な形での保護者会を企画する。 |
| | 40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 10 | | 職員同士での伝達を強化し、迅速な対応が出来るよう体制を整えている。 | 継続していく。 |
| | 41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 10 | | アプリを使用した毎月の予定の発信やInstagram、HP等を更新している。 | 継続していく。 |
| | 42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 10 | | スタッフに対しては個人情報取扱同意書の記入、利用者様に対しては写真許可や他の利用者様の個人情報の漏洩防止の同意を徹底している。 | 継続していく。 |
| | 43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 10 | | 視覚的支援を取り入れている。 | 継続していく。 |
| 44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 6 | 過去に行ったことがある。 | 気軽に参加していただけるようなイベントを考案する。 | |
| 非常時等の対応 | 45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 10 | | 書面を作成し、契約時に説明している。 | 継続していく。 |
| | 46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 10 | | 月に一度避難訓練を行っている。 | 継続していく。 |
| | 47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 10 | | 状況を把握し対応マニュアルを作成している。 | 継続していく。 |
| | 48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 1 | みえるところにアレルギーを表記しスタッフ間の情報共有を徹底している。 | 保護者様から伝達されているが指示書に基づいているか再度確認する。 |
| | 49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 10 | | 研修に参加し、日々の安全管理に役立っている。 | 継続していく。 |
| | 50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 10 | | 周知している。 | 安全計画を定期的に見直し、最新の情報を周知するよう努める。 |
| | 51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 10 | | 日報の中にヒヤリハットの記載欄を作り、ミーティングで共有している。 | 継続していく。 |
| | 52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 10 | | 社内で虐待防止委員会を設置し虐待防止に努めている。 | 継続していく。 |
| 53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 10 | | 必要な利用者様に対しては事前に計画を立て同意を得ている。 | 継続していく。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | | |
|----------------|--------------|-----|--------------|-----|--|
| ○事業所名 | | | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 1月 10日 | ～ | 令和 7年 1月 31日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23名 | (回答者数) | 19名 | |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 1月 10日 | ～ | 令和 7年 1月 31日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 12名 | (回答者数) | 10名 | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 3月 7日 | | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや 意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 定期的な面談等による情報共有を通し、保護者様との信頼関係を構築している。 | 日々の送迎や面談の際は、子どものこと、保護者様の事、学校や他デイのことなど様々な観点から話をし、細やかな情報共有を意識している。 | 日々の伝達や面談以外にも保護者様と情報共有できる機会をさらに設けていく。 |
| 2 | 移行システムがあり、当事業所は未就学児から小学校低学年までのご利用のため、同じ位の年齢の子ども同士コミュニケーションがとりやすい。子ども同士で遊んだりぶつかったりと経験を重ねる中で社会性を身につける機会に恵まれている。保護者会を定期的に行っており、保護者間での情報共有や経験談を聞く機会もある。また、当事業所を卒業して次の事業所に移行する際も知っているお友達が多いため新しい環境に馴染みやすい。 | 気軽に集える保護者会を目指し、移動支援等の紹介等保護者様のニーズにあった会を開催できるよう開催後はアンケート調査をし、柔軟な対応を意識している。普段から事業所間の交流を心がけている。 | 送迎時やモニタリング時にもお子様の様子を聞くとともに、保護者様の気がかりな事や疑問などにもフォーカスしていく。 |
| 3 | InstagramやYouTubeを活用し日々の様子や事業所について発信している。毎日のお子様様を撮影し、LINEのアルバムに毎日送信している。 | 以前は紙媒体で毎日印刷していたものの、スマホで気軽に見ることができた方がいいのではという意見があり、今年度からLINEのアルバムへの送信へ変更した。個人情報には最大の注意をし、アルバムの画像の中で他のご利用者様の顔や名前等、個人情報漏洩防止のためインターネット上に公表しない旨の同意書をいただいている。 | Instagramの充実 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------------------------|------------------------------|
| 1 | 活動自体はやっていても周知が足りていないことがある。 | 発信の形式が分かりづらかった可能性がある。 | 保護者様が分かりやすい形での発信を意識していく。 |
| 2 | 集団での取組(活動)が少ない。 | 送迎の時間が多岐にわたるため、全員が揃って取組(活動)を行うことが難しい。 | 人員を確保して取組以外のことをあらかじめ終わらせておく。 |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | ネバーランドイースト | | | | | 公表日 | 令和 7年 3月 7日 | |
|--------------------------------------|------------|---|---------------|-----|--------------|-----|------------------------------|------------------------|
| | | | 利用児童数 | | 令和 7年 1月 31日 | | 回収数 19名 / 23名 | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 18 | 1 | | | 活動によって変わるのかなと思う | 事業所内の説明を着実にやっていく |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | | | 2 | 配置数については知らない | 事業所内の説明を着実にやっていく |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 18 | 1 | | | バリアフリー化に関して分からない | 設備等に関わる説明を丁寧に行う |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 19 | | | | | 継続していく |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | 2 | | | 専門性については分からない | 専門性のある支援に関わる説明を丁寧に行う |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 17 | | | 2 | 支援プログラムを把握していない | 支援内容について丁寧に説明を行う |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18 | | | 1 | ニーズや課題が分析されているかは分からない | 個別支援計画についてより細かく共有していく |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 17 | | | 2 | 家族支援や移行支援についてよく把握していない | 提供すべき支援について丁寧な説明を行っていく |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 19 | | | | 定期的な面談を通して支援を確認できている | 継続していく |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | 1 | 1 | | 取り組みによっては利用する曜日の関係で重なることがある | 活動について丁寧な説明を行っていく |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4 | 1 | 5 | 9 | 地域の他の子どもとの関わりは把握できていない | 積極的な交流を図っていく |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 19 | | | | | 継続していく |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 19 | | | | | 継続していく |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 15 | | 2 | 2 | ペアプロを知らない | ペアプロについて丁寧な説明を行っていく |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 17 | 2 | | | 時間をゆとり取って話せるといい | より細やかな情報の共有を目指していく |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 16 | 3 | | | 面談はあるが子育て支援として他の活動があっても良いと思う | 様々な形の支援を実施していく |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 19 | | | | | 継続していく |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 14 | 3 | 1 | 1 | きょうだい向けの支援について把握していない | きょうだい同士の交流の場も積極的に設ける |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|----|---------------|-----|-------|------------------------------|-------------------------|
| 保護者への説明等 | 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 15 | 1 | | 3 | 対応の整備については把握していない | 対応の体制について丁寧に説明していく |
| | 20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 17 | 2 | | | 細かい配慮については分からない | より細やかな情報の共有を目指していく |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 17 | | | 2 | アプリやLINEで共有されている | より分かりやすい形式での発信を目指す |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 18 | | | 1 | まだ利用し出したばかりで分からない | 個人情報の取り扱いについてより丁寧な説明を行う |
| 非常時等の対応 | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 15 | | 1 | 3 | 防災訓練しか把握していない | 活動の周知を徹底する |
| | 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 15 | 1 | | 3 | 防災訓練しか把握していない | 活動の周知を徹底する |
| | 25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 16 | | 2 | 1 | 安全を確保する為の計画が分からない | 安全面についてより丁寧な説明を行う |
| | 26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 14 | | 1 | 5 | その状況になっていないので分からない | 迅速かつ丁寧な説明を心掛ける |
| 満足度 | 27 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 19 | | | | | 継続していく |
| | 28 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 17 | | 1 | 1 | 日々の伝達や子どもの話から楽しく通っているんだろうと思う | 楽しい居場所の提供に努める |
| | 29 事業所の支援に満足していますか。 | 17 | 2 | | | 子どもに直接聞けないので分からない | 楽しい居場所の提供に努める |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ネバーランド イースト | | 公表日 | 令和 7年 3月 7日 | |
|----------|----|--|-----|---------|---|---------------------------------|
| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 10 | | パーテーションを使用した小部屋を設け、個別ケアができる環境作りを行っている。 | 音に敏感な子のためにより防音されているスペースを作る。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 10 | | 適切に配置されている。 | 継続していく。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 10 | | ワンフロアでほぼ段差がない。 | トイレ前の段差に対して工夫をして段差をなくすよう改善していく。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 10 | | 活動に合わせて空間を仕切っている。 | 老朽化等でどうしてもない部分もあるができる限り清潔に保つ。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 10 | | クールダウンの時等個別の場所を使用することができ環境作りを行っている。 | 継続していく。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 10 | | 毎日のミーティングに加え、ささいな事でもスタッフ間で話し合えるような環境作りを心がけている。 | 継続していく。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | 自己評価表、イベント毎のアンケートを行い、業務改善に役立てている。 | 継続していく。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | スタッフが自分の意見を言える環境作りをすると共に、意見を反映してより働きやすい環境を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 9 | 1 | 過去に行ったことがある。 | 再度行う。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 10 | | 社会福祉協議会や地域で行われる研修等様々な研修に参加している。 | より多くのスタッフが参加できるよう呼びかける。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 10 | | 作成している。 | 継続していく。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 10 | | 個別支援会議やミーティング等それぞれのご利用者様について話し合い、客観的な分析を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 10 | | 会議だけでなくミーティングでも会議録を確認してもらい意見を交換しながら検討している。 | 継続していく。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 10 | | 情報共有し、それに沿った支援ができるよう話し合いをしている。 | 継続していく。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 10 | | 使用している。修正した方が分かりやすい部分はその都度改良している。 | 継続していく。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 10 | | 発達支援を中心に家族支援や移行支援も行っている。 | 家族支援、移行支援、地域支援にも力を入れていく。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 10 | | どの年齢の利用者様も楽しむことができるよう活動プログラムを話し合っている。 | 継続していく。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|----------|--|--|--|-----------------|--|------------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 10 | | 毎日の取組を記録し、定期的に過去も振り返り、同じ内容にならないよう工夫している。担当制にしている。 | 継続していく。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 10 | | 行っている。 | 継続していく。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 10 | | 午前には常勤のミーティング、午後からは非常勤を含めたミーティングを行い情報共有に努めている。 | 忙しい日には内容が疎かになってしまうこともあるため、意識改革を行う。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 10 | | 振り返りを行い記録している。出勤していないスタッフには翌日のミーティングで情報共有している。 | 継続していく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 10 | | 連絡帳、日報など記録をとっている。 | 継続していく。 |
| | 23 | 定期的にもモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 10 | | 半年に一度モニタリングを行い、必要に応じてそれ以外でもモニタリングを行っている。 | 継続していく。 |
| | 24 | 放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | 10 | | 行っている。 | 地域交流の機会にも力をいれる。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 10 | | 小さなことで子どもに決めるよう促しこども主体の支援を心がけている。 | 継続していく。 |
| | 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 10 | | 管理者と日中担当している職員が参加することが多い。 |
| 27 | | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 10 | | 様々な機関と連絡を取り、連携して支援している。 | 継続していく。 |
| 28 | | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 10 | | 学校の年間計画表をいただいたり、送迎時の調整等情報共有を行っている。 | 継続していく。 |
| 29 | | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 10 | | 必要に応じて情報共有を行っている。 | 継続していく。 |
| 30 | | 学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 9 | 1 | 学校を卒業する前にデイを卒業するので障害福祉サービス等への移行はないがデイの移行制度があるため、移行する際は事前に打ち合わせをする等支援内容を共有している。 | 継続していく。 |
| 31 | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5 | 5 | 連携を図っている。 | 必要に応じて助言を頂けるよう働きかけていく。 |
| 32 | | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 5 | 地域の運動会に参加させてもらった。 | 今後もイベント等機会を設けたい。 |
| 33 | | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 9 | 1 | 参加している。 | 継続していく。 |
| 34 | | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 10 | | 日々の伝達を行い、その都度話し合いが出来る。 | 継続していく。 |
| 35 | | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 10 | | ペアレントプログラムが来年度東区で開催されるので情報提供をし、参加を呼びかける。 | 継続していく。 |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 10 | | 契約時に説明している。 | 継続していく。 | |
| 37 | 放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 10 | | 保護者様の意向を確認している。 | 継続していく。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|----|------------------------------|--|----------------------------------|
| 保護者への説明等 | 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 10 | | 支援計画の説明をし、同意を得ている。 | 継続していく。 |
| | 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 10 | | 利用者様の様子をみながら必要に応じて話す機会を設けている。 | 継続していく。 |
| | 40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 10 | | 保護者会を開催し、親御様同士の交流の場を提供している。 | 様々な形での保護者会を企画する。 |
| | 41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 10 | | 職員同士での伝達を強化し、迅速な対応が出来るよう体制を整えている。 | 継続していく。 |
| | 42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 10 | | アプリを使用した毎月の予定の発信やInstagram、HP等を更新している。 | 継続していく。 |
| | 43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 10 | | スタッフに対しては個人情報取扱い同意書の記入、利用者様に対しては写真許可や他の利用者様の個人情報の漏洩防止の同意を徹底している。 | 継続していく。 |
| | 44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 10 | | 視覚的支援を取り入れている。 | 継続していく。 |
| | 45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 7 | 3 | 過去に行ったことがある。 | 気軽に参加していただけるようなイベントを考案する。 |
| 非常時等の対応 | 46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 10 | | 書面を作成し、契約時に説明している。 | 継続していく。 |
| | 47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 10 | | 月に一度避難訓練を行っている。 | 継続していく。 |
| | 48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 10 | | 状況を把握し対応マニュアルを作成している。 | 継続していく。 |
| | 49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | 2 | みえるところにアレルギーを表記しスタッフ間の情報共有を徹底している。 | 保護者様から伝達されているが指示書に基づいているか再度確認する。 |
| | 50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 10 | | 研修に参加し、日々の安全管理に役立っている。 | 継続していく。 |
| | 51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 10 | | 周知している。 | 安全計画を定期的に見直し、最新の情報を周知するよう努める。 |
| | 52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 10 | | 日報の中にヒヤリハットの記載欄を作り、ミーティングで共有している。 | 継続していく。 |
| | 53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応をしているか。 | 10 | | 社内で虐待防止委員会を設置し虐待防止に努めている。 | 継続していく。 |
| 54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 10 | | 必要な利用者様に対しては事前に計画を立て同意を得ている。 | 継続していく。 | |